13
2378
196

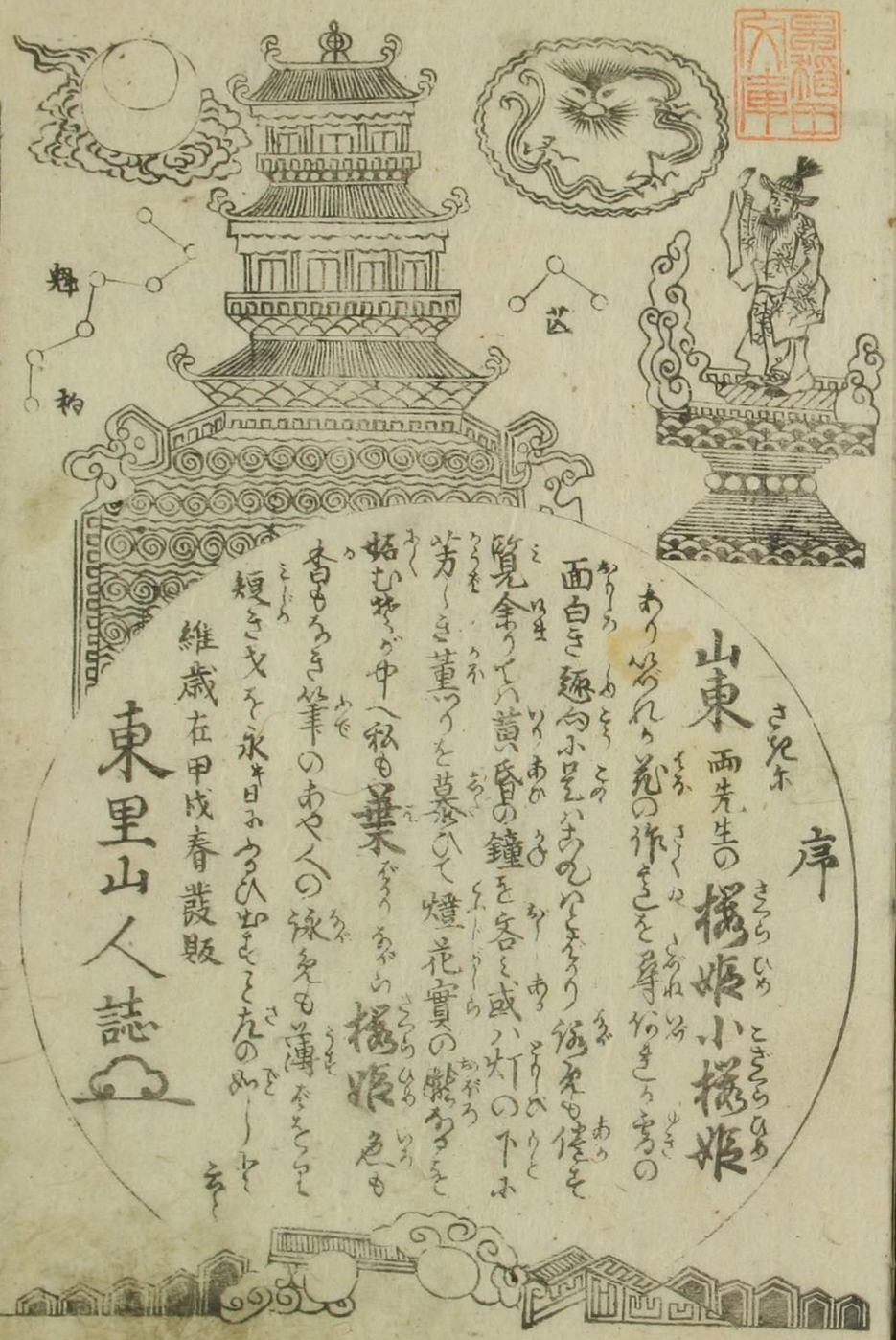
遠へ3
2378
196

成春新板

東里山人作　全六冊

葉櫻ひめ　上

勝川春扇画　甘泉堂板



佳人一段
好風流
花滿春城
月滿
樓
園
根津国
浪花の
佳人
梅津前室
春風
政弘

翠黛
畫眉纖
月淡
春風滿
面小
排
紅
四
国
大和国吉埜郡
義野山の住人
櫻木左門佐薫の
嬢 薫櫻姫
月の姿の
京紙

玉輪
礦破
九重
橘本中將俊季
良等
生嵜内藏人妻
基忠
後ニ
櫻木
左門佐ニ
嫁ス

天
萬里
秋光
在
目前
梅津前官
春風
側士
山吹
友人
松柏亭辰九

清水きよみず
清玄せいげん坊ぼう

夢の神の圖

山澤未石怪所應時象

轉物志 三才圖會禹考祥

第二回目

○こゝにむかしよし〳〵の山のふもとに
さゝふ木さくら人の妹かゝるといふものあり
家まづしうさごまで木こまうしの氷朱を
めしはられ一人のむすめありてこれを
なつさくてひわくといふうる〳〵さの
家みちもこうれがれけるかなしひはりては
なかぞうてゝ母をさし四十あまりてなかば
さくらの妹もいまだ四十ぢにさだまらざる
後の妻かゝるがへりせちとそれがしうらんが
口入さゝく　おりけれどもさくら人の妹は
たゞひふざうつゝきの老のたのしみとし
かゝりまゝ母の世ふはれなかりけるあやまち
あらじきてもおやびつれなあまてこれを
とくしみもなくあまりく○をさく〳〵し
ねんがいかしうはらずつゝ十三のそのこぞ
むつうけてもふさくら木のりく人○ひさ
あく光よさる男おりなりしくさくら人の妹ふ
りあうされじうさふ後の妻のとく
あへぜちせしかどく人もなくまゝぎ
うつりひつぜう一人の娘をとまつ母ふかけん
てを母うそば思ひうひてのくとなかべし
ほとしさらめてこりふれみつうれしども
よみりうらびひめ子もなきや十三の○みも
ありかへて母おやなくそれうつのくとふ
はかさてなしうくべしつゝきもあきとみさく
りのとおりひうひ男の中ゝも新まぎりそて
せんなきあく名みそものきうなか大事なる
かゝらふろべし人ふはなすあきさん
家ふらんきりの　あききいとしと世の
てくのこもふもいつてまけてのちの後まつそて
むくるべくしんぶかふいさかけねぞ
さりんの妹ものはならぬせさけの

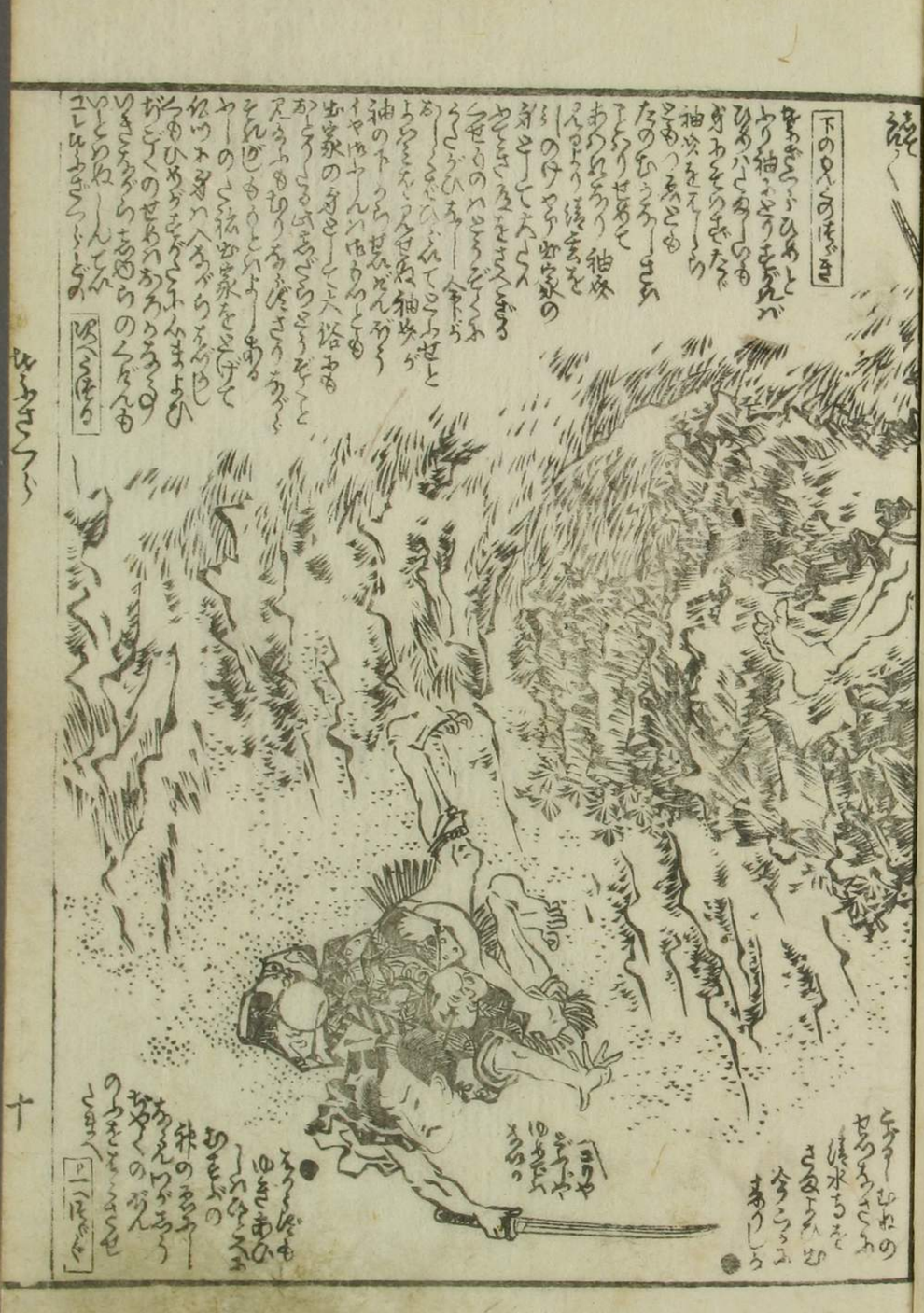
○のびくかふおりひくらべて
これいつきゑとてなてありんの
てんなくふふさふでれやさきりの
おりしてて夏州といつかことに
ことどあいきうつなる
さりんの妹へあつぶちゝろしけるこ
そもく下野州とちるいえやと
西まいくしの大なるかんおのふ
いとけなきをとかみよりかさやは久へ
ちあてあわしがす九のさし
イしりとの中ねとしをえこどのく
いろのといくこさえむじふんどと
いふりの方へゑたんねりて
ふさはで一人の男子をなを
りつけてこれをぬ太丸と名
ほけちかうおもおさくうら
ぎりしが成ぬ太丸いまめのとふ
と君とまでむ父は兄西をえどの
大つふらんきんむ以ねひとどもふ
いんがくの今ふでむありしが
はやふるまあうふれてらんよの
しんせんむ山このふむひうつと
きこくうちとしをまえ父たびひとう
ぬときんむしてしとの山よう
いりちとともあくあくちまかまへて
いろのこらかうとでくくく
いけどもれあおりきやことなぞ
あとうかうれけるはと記らんとも
おもかいれてけさうの子ぬゑ丸も
六条がふかへてとともふくびを
男子なるれはきまふあくとなられ
かなきのとまかりあきなきぬぞ

あまりの心いとおもやしとてんみや家を
こひしけ男てんののかあゝうふかられ
出家をさゝやきとて清水寺へぞ
これを田舎へきて後の方へあ
はうふさかれける母ねの州とあ
ざまよしの山の奥へうつれ
その母うの御ありのゝ方へ
うつりさかれける父母かの州しが
父母もならん世をあさりて
たびをとしざゝるりの旧とう
ある方へたようけれど所ふ
るれもふかまのせ尽ませて
まるもの〳〵あらりひきらぶる
思うふをこれとめて所ふあり
へうなやく分をとるにほけん
ぐわのよるみてなふふかれいわれ
とおかよれかちかのきしより
本のの下入口入のまなし
ききふよろうう大寺ふうろうひ
さんぬそく三んじらんそて

○
長州さりんの妹かのちの
妻とありて後めざさりし継
をもよくいさかうり雌とう
てもまゝ母のはらうかうけ
うさりいかふさかへ御んの
おこるえしやあてたいねる
ふきをきしけ後もかちへ
はかなせしねむなぜつと
あとし十三才のさし
あうりせん

つぎへつゞく

ちよのつゞき



山東京傳店

富物ヲ知ル歌二首

切し紙地あんぜんキセルたばこ

画さんあるまふ

そうまもの書画

徒書丸ちくびふ

小鬼むし弟うり丸

寄応丸まで外ハ

蔓の神の図

清

京傳店 畜物り知ル哥

○えびのふい京山てんこくの玉石銅印

○十三果あんあ〜ひ粉のくゝの上いきあを

夏

東里山人作

勝川春扇画

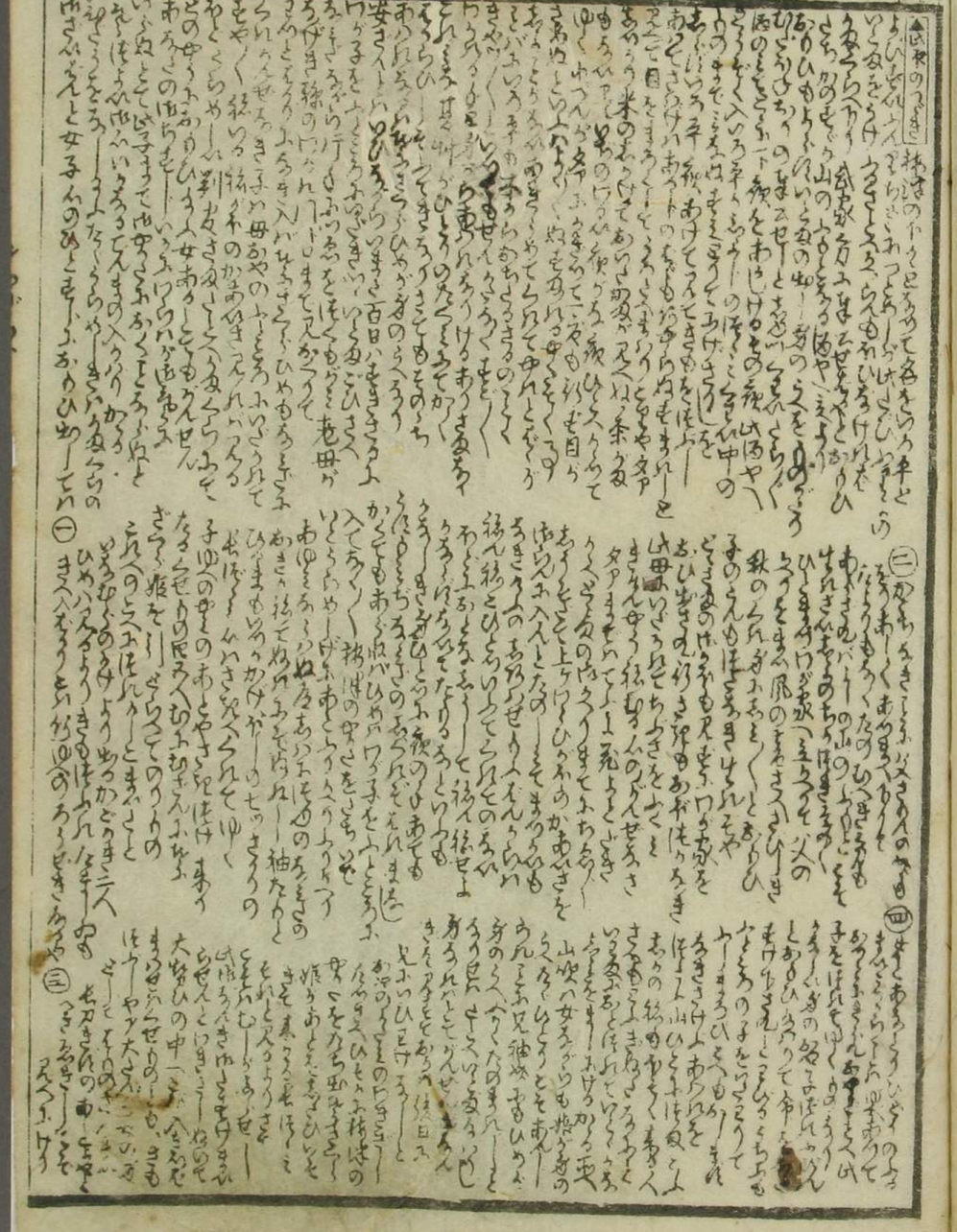
化土伝

後編之巻

夏

▲武者のつぐき

▲武者のつぐき



出東京傳作
口上のこと
京山せんやう
玉石 銅印 あとのこと

清
大當山泉市

山

山

清

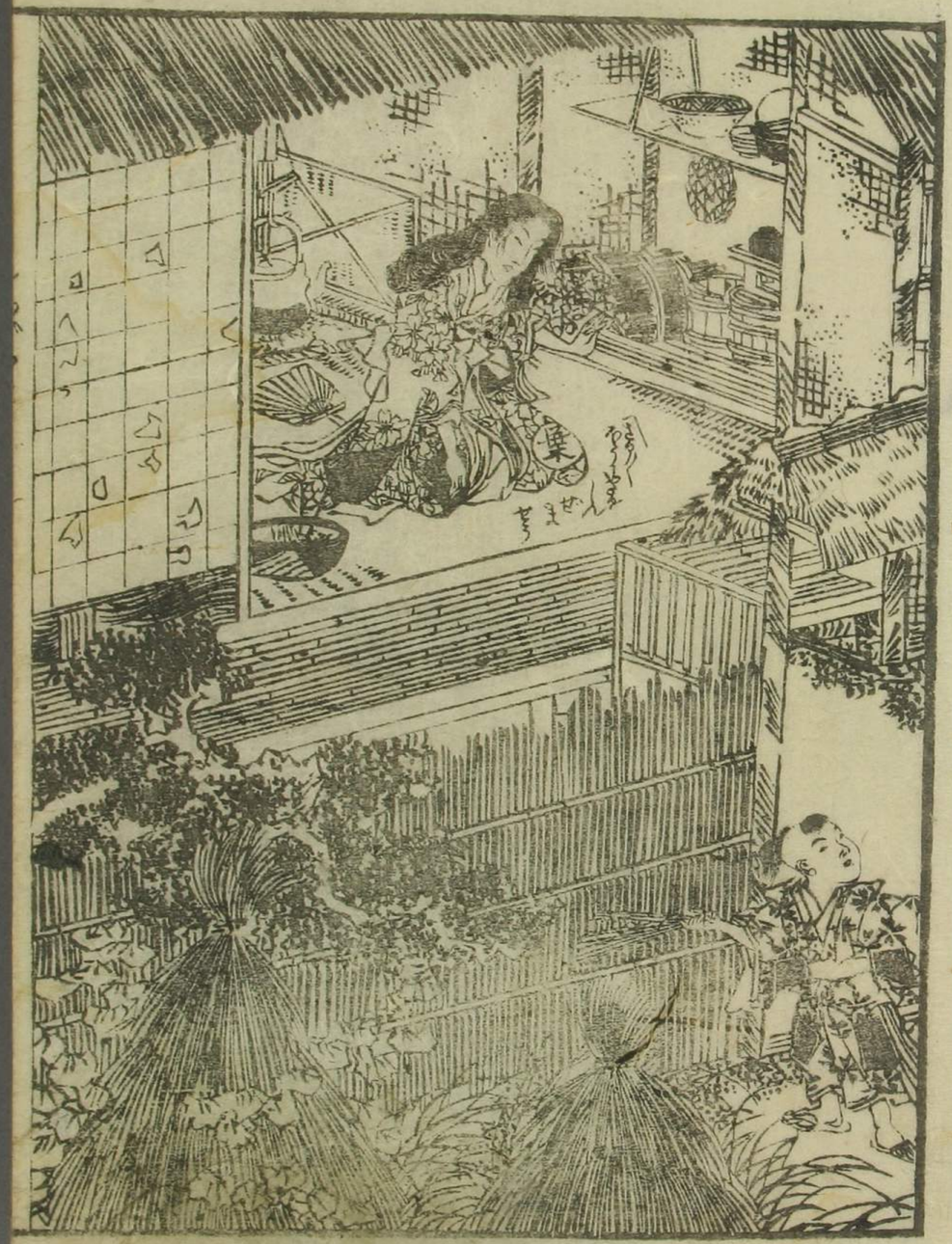
清

山

柚

春

袖
色
春



春
色

亀

社

文化十二甲戌春新板繪双紙目録

天竺唐土西域日本の諸国遊歴記 三國怪猿傳 全部 山東京傳作 十二冊 歌川豊國画

四つ屋 龍飛 蜃 累 女傳 會談三組盃 全部 山東京傳作 六冊 勝川春扇画

柳屋於柳 細腰傳奇 赤前垂祇園護 全部 山東京山作 六冊 歌川國直画

雲とんー新 桃 葉櫻姫卯月物語 全部 東里山人作 六冊 勝川春扇画

亀毛浮世ハ元陽意記 全部 東里山人作 三冊 勝川春扇画

房が手前手屋繁碗 團七縞お夏浴衣 全部 東庵亀作 六冊 勝川春扇画

巳鳴鐘男道成寺 全部 曲亭馬琴作 六冊 歌川豊國画

目録ノ通りの品を出板賣ひさぎ申候間相かわらず御ひいきの程願ひ奉り候

江戸芝神明前 繪双紙問屋 和泉屋市兵衛 壽梓

世の中くるくるまわる
はなしあり
世三光